

# 3アップ連続セミナー

連続セミナーは、各回に用地行政に関わるホットなテーマを設け、行政実務家・専門家・有識者等を講師にお招きし、御講演いただくもので、国・地方公共団体・関係機関等の用地担当職員のさらなるスキルアップ等を目指し開催する6回連続のセミナーです。

第1回セミナーについては、平成29年5月15日(月)に「用地行政に生きて」をテーマとし、長年にわたり用地行政に携わられた2名のベテラン元用地職員から、経験に基づいた用地業務の重要性ややりがいについて講演いただきました。



第1回セミナー会場風景  
(参加者283名)

# 第1回「用地行政に生きて」

<市川正三氏>

埼玉県職員として飯能土木事務所を振り出しに、有間ダム建設事務所等県内の土木事務所にて、公共事業の地元調整や用地交渉など30年間の長きにわたり用地行政に携わられた。著書として「用地現場で30年」、「苦情は役人の良薬です」がある。

<松村素子氏>

元東京都職員。現場担当係長として用地業務に従事した後、本庁建設局用地部物件評価係長、建設事務所用地課長など用地行政に25年間にわたり携わられた。また、平成21年度に用地対策連絡会全国協議会の用地補償業務功績者表彰を受賞された。

**用地担当職員研修**

- ① 小鹿野バイパスごね得騒動
- ② 「収用にかけてくれ、それ以外は受け付けない」
- ③ 滝沢ダム、最後の地権者
- ④ サギ山(サル山ではない)野田のボス、用地のとりまとめ
- ⑤ 交渉での約束(県職員採用、耕作権抹消)
- ⑥ 道路内の未登記箇所抹消(新採初仕事)
- ⑦ 森林評価は難しい
- ⑧ 両神村役場の新採職員

[用地交渉上の原則]

仲間には協力するが、敵となると、顔も見たくない

説明会で怒鳴っている人がいればチャンス到来

井沢弥惣兵衛流の交渉術(子供がなつく)

国土交通省関東地方整備局「用地行政3アップセミナー」講演  
—用地行政に生きて—

元東京都建設局職員 松村 素子

**1 始まりは反対同盟が半数を占める河川改修用地取得**  
 ♪ 初心忘れるべからず  
 ♪ 退職まで考えた「税務協議失敗事件」  
 ♪ やっかいな共有私道残持ち分の処分  
 ♪ 家族の理解と協力

**2 引き続き道路の新設・拡幅用地取得に携わり**  
 ♪ 多数共有物同時契約の苦しみ  
 ♪ 道路面が上がる(下がる)と裏の家まで(時には数件裏まで)影響が出る!?

**3 占有者を侮るなかれ**  
 ♪ 後回しにした占有者の呪い

**4 営業者の移転は難しい**  
 ♪ 交差点改良のお得意様たち ほか

**5 都市計画事業といえば収用法**  
 ⇒ 漏れなく手続き開始  
 ⇒ 収用法は事業者にとっての「伝家の宝刀」ではあるが  
 ⇒ 地権者の権利を守る手続法でもある  
 ♪ 「価格固定日」前後の苦しみ  
 ♪ 「逆収用」の恐怖

最後に：地権者の「有難う」がやりがいに  
 完成形の美しさで苦勞を忘れる  
 ストレス解消と家族の理解は必須  
 問題解決能力・組織調整力アップのチャンス